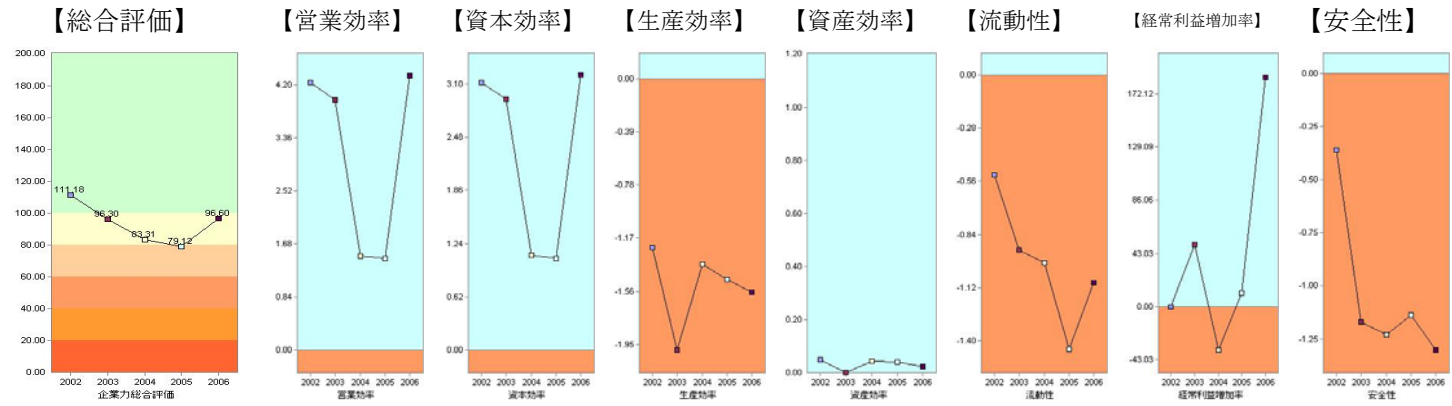


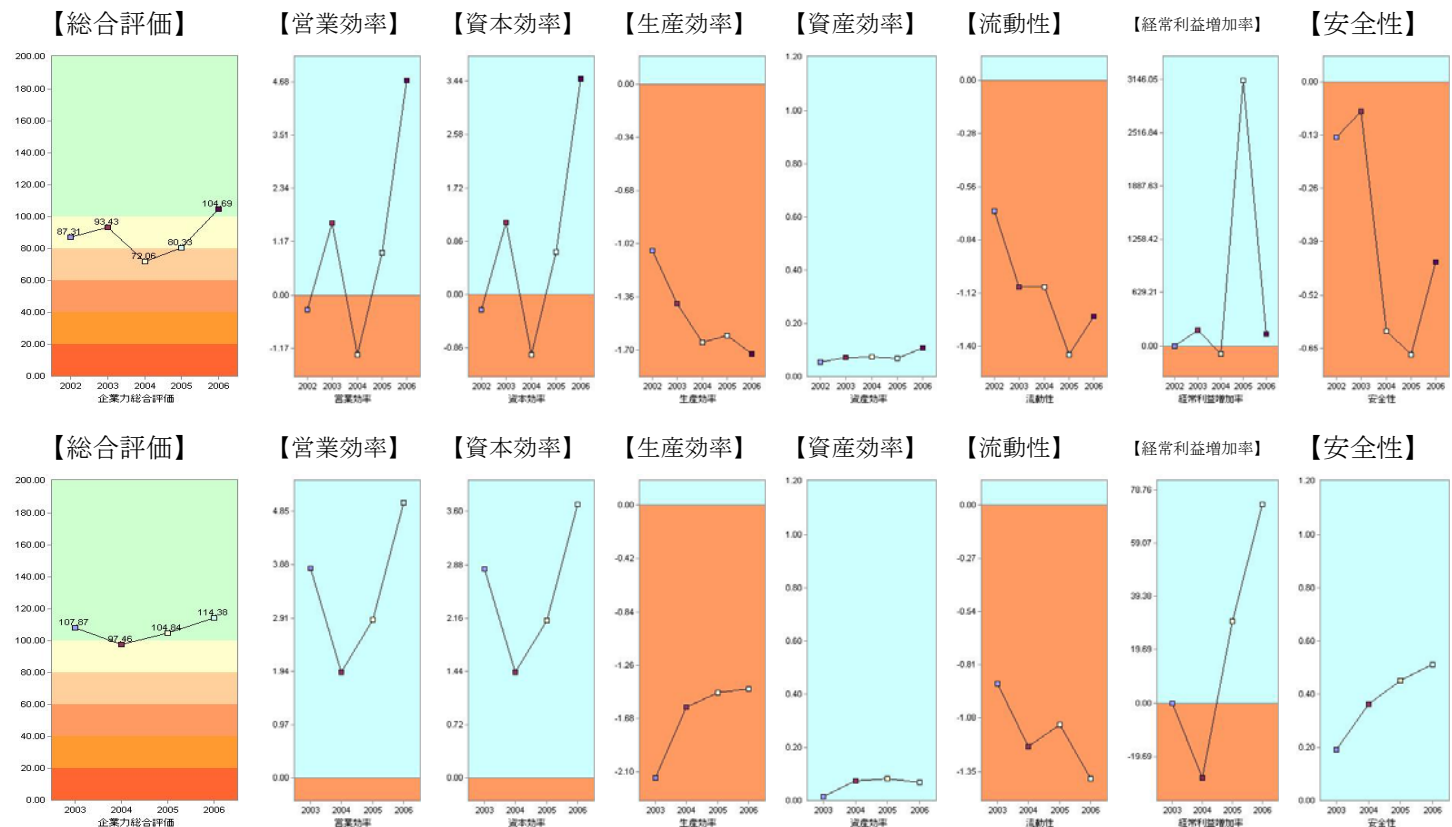
今回は、牛丼チェーン「すき家」を直営し、M&Aで、(株)ココスジャパン（2000年7月）、(株)日本ウェンディーズ（2002年12月）大和フーズ(株)（2002年12月）(株)なか卯（2005年3月）等を取得している(株)ゼンショーの分析です。



安全性が赤信号領域にはまっています。自己資本比率が低下しているためです。

	2002年3月	2003年3月	2004年3月	2005年3月	2006年3月
自己資本比率 %	22.36	15.02	13.51	12.34	11.39

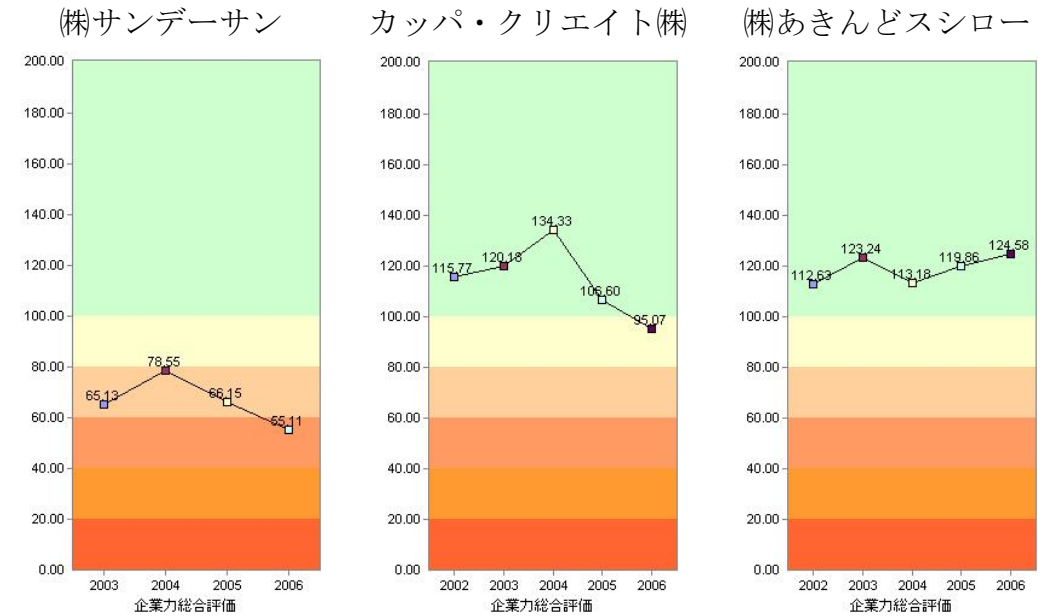
M&Aで傘下におさめた(株)なか卯（上段）と(株)ココスジャパン（下段）の診断も見てみましょう。



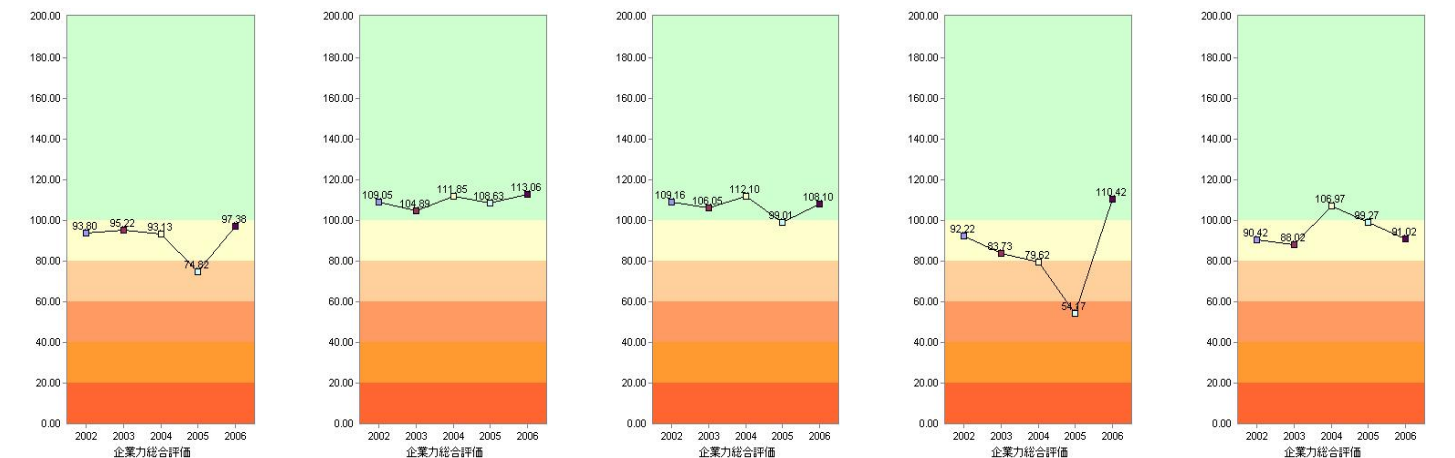
(株)ココスジャパンは、経営内容は悪くはないですね。NEWS第8号に、(株)ゼンショーのライバル社、吉野家の診断がありますので、参考にして見てください。

(株)ゼンショーは、さらなる拡大戦略を重ねていくようで、2007年3月に(株)サンデーサン、カップ・クリエイト(株)、(株)あきんどスシローを傘下に収めました。

成長しているのは(株)あきんどスシローだけで、(株)サンデーサン、カップ・クリエイト(株)は悪化企業で厳しい状況です。下記グラフは回転寿司を業としている上場企業の分析です。青信号領域ギリギリに位置しているかそれ以下の企業が多いのに驚かされます。おそらく市場が飽和状態になっているのでしょう。



回転寿司 A 社 回転寿司 B 社 回転寿司 C 社 回転寿司 D 社 回転寿司 E 社



カップ・クリエイト(株)は、以前NEWS第14号に登場した企業です。2005年に悪化成り行き倍率2がついていましたが、その後(株)ゼンショーの傘下にはいった訳です。飽和状態にある業種にM&Aをしかけることが良いことかどうか、(株)ゼンショーは一考の余地がありそうです。

まとめ

分析をしていくと企業の拡大戦略という視点で、いかなる方法が最も企業力を高めるかが見えてきます。逆に言えば、拡大すればするほど衰退する会社も多く発見されます。企業が大きくなりすぎて身動きが取れない会社も沢山あります。

M&Aによる拡大戦略を考えた時、どんな業態が最も成長しているか。その業界の中で勝ち組はどこかを確認すべきでしょう。

問い合わせ先 SPLENDID21 に関するお問合せは下記までお願いいたします。

〒840-0015 佐賀県佐賀市木原 2-6-5 税理士法人 諸井会計
tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888 ☎ info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp>